

上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（若手研究）

研究代表者 所属・職名 附属中学校・教諭

氏 名 猪股 大輔

研究期間 令和元年度

研究プロジェクトの名称	生徒が「英語で世界を広げる」ための場の設定に向けた海外の学校との連携
研究プロジェクトの概要	<p>世界では 17 億人以上の人が英語を使用していると言われている。日本語が通じない英語を第二言語とする外国人との実際のコミュニケーションの場を設定し、互いに自身や自国のことなどについてやりとりすることを通して「英語で世界を広げる」と実践的なコミュニケーション能力を高めることをねらう。実際に顔を合わせたコミュニケーションだけではなく、インターネットを介した遠隔授業でのコミュニケーションの可能性を探る。</p> <p>「なぜ英語ができるようになりたいか」と質問すると、生徒の多くは「様々な国の人たちと話せるようになりたい。知らない世界を知ることができるようになりたい。」などと答える。実際に、英語が使用できるようになれば、日本語が通じない相手と会話やインターネットを通してやりとりしたり、英語で情報を収集・発信したりすることができる。生徒ができるようになりたいことは「英語で世界を広げる」ことであると考え。しかし、実際に学校の英語でやっていることというと、テストのための勉強であったり、生徒が学習して単語や文型を使って情報交換をするだけのものであったりだと考える。</p> <p>実践的な英語でのコミュニケーションの経験を何度も積ませることで、英語で難しい内容についてやりとりをするようになり、実際には学校の教室だけの勉強では足りず、内容に見合うだけの英語力を身に付けようと更に意欲的に英語学習に取り組むきっかけになると考える。</p>
研究 成 果 の 概 要 ※申請時にチェックした「取組課題」との関連とその成果も明記すること。	海外出張の予定が新型コロナウイルスの感染予防のために取りやめとなり、予定の研究が実施できなかった。
研究 成 果 の 発 表 状 況	
学校現場や授業への研究成果の還元について	